

—あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ—



市議会だより



2020

第61号

2月1日

佐沼小学校
合唱隊のみなさん



目次

12月定期議会	2
11月特別議会	4
常任委員会報告	5
一般質問	8

登米市民病院・豊里病院

病床数を削減

12月定期議会



登米市病院事業、老人保健施設事業及び訪問看護ステーション事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例における採決の様子

12月定期議会は、12月6日から19日までの14日間の日程で開かれました。本定期議会では、指定管理者の指定や条例の一部改正、各種会計補正予算審議などが行われ、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問には、20人の議員が登壇し、市長にその考えを質しました。

病院名	令和2年4月1日施行	
	現在	削減後
登米市民病院	258床	198床
豊里病院	99床	90床

条例の改正

◆登米市病院事業、老人保健施設事業及び訪問看護ステーション事業の設置等に関する条例の一部を改正

登米市民病院及び豊里病院における病床数の削減と、よねやま診療所から登米市民病院へ人工透析機能を移転する。

市長は市民病院における産婦人科の再開を目指すとしているが、病床の縮小体制の中で再開は可能なのか。

産婦人科の再開については、現在の病院の施設や病床数では厳しいと考えている。大崎市民病院とのセミナー、プリンシステム等、なお一層連携をとりながら、進めていきたい。

条例改正後の予想される病床稼働率は、今回のダウンサイジングを行った後、市民病院については90%、米谷病院と豊里病院についてはそれぞれ85%と見込んでいる。

賛成討論 佐々木幸一議員
病院経営の中で、病床のダウンサイジングと病床機能の見直しはベストであるとは考えていないが、今考えられる方向としては最善ではないかと思われる。本市における長期ビジョンを示し、市民に理解を得ながら、今以上に検討を重ねていきたいことから、賛成する。

反対討論 田口政信議員
本市病院事業中期計画を軸とした経営改善改革の方針にも提示されていない、病床の削減をする突然の改革提案である。不透明な部分が多すぎることから、反対する。

一般会計補正予算

主なもの
小中学校等空調設備設置事業
1100万6千円

実施設計時の施設毎の詳細調査結果による電気設備増工などのほか、設置教室の変更により、当初積算した予算額を上回る見込みであるため補正するもの。

設置教室が変更になった理由は、

通常40人学級を1年生は学級編成弾力化により35人学級と変更したことからクラスが増となった。また、特別支援学級では利用教室数が計画時と相違があったため。

入札契約監視委員会設置事業

11万2千円
本市の入札及び契約制度の検証、審査や、本市が発注した全ての案件に係る入札結果及び契約手続きの運用状況について審議を行う「登米市入札契約監視委員会」を設置するもの。

指定管理者の指定

◆長沼ポート場クラブハウスの管理者に長沼ふるさと物産(株)を指定。

選考審査の内容は、

所管課は書類審査を行い、選定委員会において、所管課での採点の妥当性と応募者ヒアリングを経て判断した。設置目的に沿う内容であるか、選定委員会ではチェックできたのか。

ポート競技の普及につながれば理想だが、この案件はあくまでも施設管理である。

採点基準を公表しないと不公平になるのではないかと、事前に公表すべきだったことから、運用を改める。

指定管理の経験があれば、採点基準を知り得るなど有利ではないか。
審査視点は理解されていると考える。

反対討論

曽根充敏 議員
新規の指定管理施設だが、設置目的を活かす点について、検証の様子が伝わらない。ヒアリングも十分のことであり、審議し直すべきだ。

各施設を管理する団体が次のように決まりました

- 登米祝祭劇場
【登米文化振興財団】
- 米山公民館、米山農村環境改善センター
【西野コミュニティ運営協議会】
- 吉田公民館、吉田体育館、善王寺コミュニティセンター
【吉田コミュニティ運営協議会】
- 中津山公民館
【中津山コミュニティ運営協議会】
- 迫老人福祉センター、登米老人福祉センター、中田老人福祉センター、東和地域福祉センター、石越福祉センター、米山総合保健福祉センター
【登米市社会福祉協議会】
- 登米市畜場
【株式会社 清建】
- 米山農村総合管理施設
【みやぎ登米農業協同組合】
- 登米森林公園
【登米町森林組合】
- 東和総合運動公園
【錦織地域振興会】

12月定期議会審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議案名	議決結果	採決結果																												
			賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
議員名	議案第90号 令和元年度登米市一般会計補正予算(第5号)	可決	17	4	欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員名	議案第104号 登米市病院事業、老人保健施設事業及び訪問看護ステーション事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	18	4	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員名	議案第114号 指定管理者の指定について(登米市長沼ポート場クラブハウス)	可決	13	9	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対、または賛成しなかった者、(欠)は欠席、(議)は議長。

11月19日 特別議会 台風被害に12億円を追加補正

総務企画常任委員会

市が抱える財政の問題と その解決に向けた取り組み



納税組合南方支部との意見交換会

納税意見交換会

(9月28日)

納税組合の要望を受け、南方総合支所会議室を会場に意見交換会を開催した。会場が満席となるほど多数の参加者のもと、終始活発なご意見をいただいた。本市は人口減少にともない着実に財政も縮小することが予想されているが、こうした将来を見据え、現在の借入金や病院事業会計等への繰出金は適正なのかなど、市政の課題に心配と不安の声が多かった。交付税措置される借入金返済の仕組みを確認したり、病院事業の心配を共有したり、市の将来を語る貴重な機会となった。

災害廃棄物処理事業



稲わら集積所（米山町）

補正額 1億7,805万円

ごみ処理	6,695万円
家屋内洗浄	130万円
稲わら処理	1億980万円

土木施設災害復旧事業



洗掘された黄牛線（津山町）

補正額 5億175万円

道路橋梁	3億158万円
河川	2億17万円

農業・林業施設及び農地災害復旧事業



崩れた林道野尻線（津山町）

補正額 1億1,106万円

農業用施設	3,422万円
林業施設	6,757万円
農地	927万円

被災住宅緊急修理事業



浸水した久保地区（津山町）

補正額 3,888万円

半壊以上	595,000円×24件=1,428万円
一部損壊	300,000円×82件=2,460万円

女川原子力発電所の安全対策の現状

(10月9日調査)

○調査概要

■女川原子力発電所は、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震発生後、1号機、2号機及び3号機すべてが自動停止し、「止める」「冷やす」「閉じ込める」が正常に機能した。地震を経験した後の安全対策としては、最大想定揺れの大きさを580から1000ガルに引き上げ、それに耐えうるよう耐震工事を行っている。

また、防潮堤を海拔29mまで嵩上げし、鋼管式鉛直壁設計のものが680m、セメント改良土による堤防が120m、総延長800mに改良中であり、施設の機能が失われないようになっていく。

女川原子力発電所2号機は、3400億円を投じて稼働を目指していたが、実質的な合格が出された。今後、再稼働にあたっては、周辺市町村の合意が必要である。

台風19号に伴う水道施設の被害状況

(10月23日調査)

○調査概要

■東和町大綱木浄水場基礎部の土砂流出や、水管橋破断などによる影響により、ピーク時で65戸断水が発生したが、仮設配管による給水により応急措置を講じ、断水の解消を図った。

現地調査後、委員間討議において、早急な市の対応が必要として、被災住家等の洗浄作業に係る水道料金を減免する場合には、減免申請手続きについて、被災者の負担とならないよう簡素化に努めるように求めた。



大綱木浄水場の被害調査（東和町）

認定こども園

一年間の開園実績を踏まえて



佐沼明星こども園現地調査

佐沼明星こども園、登米北上こども園現地調査
(9月19日調査)

「登米市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育と保育の一体的な提供及び保護者の支援や待機児童の解消を図る目的で整備され、30年度から開園されている認定こども園について、現在の開園状況や課題等を確認するため現地調査した。

開園1年半が過ぎ、現場では課題解決を図り、園児や保護者とともに明るく過ごしやすい環境づくりを図っていることが見て取れた。他のこども園も整備されている中、今後委員会としても注視しながら、積極的に現地に赴き調査して行く。

台風19号の被害による市民生活部の対応状況報告
(10月24日調査)

台風19号の大雨による被害について、避難所の設置状況、災害ごみの受入れ、泥の処理、消毒関係、津山地区への相談窓口の設置及び社会福祉協議会によるボランティア支援状況等を聞き取り調査した。

産業建設常任委員会

多様なニーズに応えられる 企業誘致政策を



登米市産業振興会との意見交換会

登米市産業振興会との意見交換会
(11月1日)

はじめに会員企業である、S&B食品(株)宮城工場及び(株)登米村田製作所を視察した。工場は、近代的かつ衛生的であり、従業員も働き甲斐を感じながら仕事をしているように感じた。

意見交換では、企業側から災害時における従業員の安全確保について、緊急告知ラジオの配布(有償でも可)を求められた。現在、緊急告知ラジオの在庫は、6000個である。一般住宅だけではなく、会社や店舗、企業などにも活用されるよう考えられた。

公有財産の活用については、事業拡大、企業誘致につながるようネット検索でヒットしやすい工夫が必要。また、今後、公共施設の個別計画が策定されたら公表すべきである。

若者の定住については、地

委員会では、早急な市の対応を求める事項として、「稲わら処理は産業経済部と連携し対応すること」など、今後状況等を注視し要望、提言を行う。

学校給食費の見直し
(10月29日調査)

本市では合併後の19年度に学校給食費を統一して以来、現在まで12年間にわたり単価を据え置いてきた。

しかし、食料費等の高騰や、栄養素の一部に学校給食摂取基準を満たしていない項目が見られることが判明。これらを解消するため必要となる給食費の見直しを調査した。

各幼稚園・小中学校保護者への見直し(案)のお知らせ、本市使用料等検討委員会での審査、教育委員会議へ学校給食費徴収規則の改正(案)の提案を行い、2年4月から新たな給食費として徴収する予定としている。

病院事業の病床機能のあり方
(10月29日調査)

市民病院へ急性期医療を集中し、米谷病院と豊里病院は回復期と慢性期を担う病院として病床機能を分担のうえ、中核的病院である市民病院を中心とした医療提供体制の構築を図る。また、入院患者数の動向と病院機能に応じた看護師数の配置基準を考慮し、病床数の削減等を図る計画を調査した。

○市民病院に急性期病床を集中する。病棟は看護師配置基準確保のため5病棟に再編して、病床規模をダウンサイジングする。

○米谷病院、豊里病院は回復期と慢性期を担う病院として病床機能を分担する。主に地域包括ケア病床に転換する。

これらの再編によって高い施設基準を確保し、診療報酬上のメリットを見込んでいく。病床機能再編に伴う診療報酬のメリットは示されたが、全体の収支計画にどう反映されるのか、今後調査する必要がある。

台風19号に伴う被害状況の把握
(10月21日調査)

迫町及び南方町では、水田の稲わら堆積状況を、米山町では、市道や農地のり面崩れを、津山町では国道45号線や南沢川・北沢川、道の駅津山の状況を確認した。

さらに津山町横山地域では、地域住民から災害発生当時の様子を伺い、生活再建に向けた要望を聴取した。



横山地区で被災状況の聞き取り調査

問 台風19号の被害者の支援対応は

答 スピード感を持って進めて行く



相澤吉悦 議員

問 登米市は台風19号の豪雨により、市内の各河川が氾濫し浸水被害が発生した状況を公表した。この影響で市内に死者1名、重軽傷者2名、津山

町と東和町、登米町を中心に一部損壊12棟、床上浸水89棟、床下浸水212棟の住宅に被害が出た。私としてはスピード感を持って支援、対応すべきと思うが。

答 被災した市民皆様の生活再建に向けた各種支援策はスピード感を持って進めて行く。
問 今回の災害対応として災害対策本部を設置し



迫町佐沼中江地区の内水被害

て万全の体制で臨むべきではなかったか。
答 災害対策本部を設置しなかった事は深く反省している。今後、検討の体制を改善していく。
問 流失した稲わらの撤去被害に支援対応すべし。

答 国が新たに支援制度を創設すると発表した。登米市農業再生協議会が事業主体となって本事業に取組んでいく。
問 いま一度、市民に緊急告知ラジオの使用方法を伝えるべきと思うが。

答 再度、使用方法について周知に努めていく。
問 市内の企業に緊急告知ラジオを貸与し、情報提供すべきと思うが。

答 精査し、その上で前向きに検討していく。
パワハラ等について

問 職員のパワハラ等が無いか調査対応すべし。
答 ハラスメント防止の意識啓発を行っていく。



問 台風19号の対応について伺う

答 マニュアルに準じて対応を行った



佐々木好博 議員

問 今台風の災害対応は十分だったのか。
答 警戒配備体制をとり、特別警戒本部により市民への周知など安全確保に努めた。

問 防災マニュアルは機能したのか。
答 一部例外的な処置もあったが、マニュアルに準じた対応を行った。

問 今後の被災者への支援はどの様に進めるのか。また、ふるさと納税などの寄付金を基に、市独自の被災者支援を行う考えはないか。
答 災害救助法に基づき対応する。また、市の公

共料金の減免や災害援護資金等の貸付を実施する。市独自の支援については検討させてほしい。
問 横山地区は過去に何度も同様の被害に遭っている。今後の災害対策はどの様にを行うのか。
答 県は予算調整しながら事業推進を図っていくとのことだが、これまでの状況から南沢川、北沢川の河川改修事業については国の直轄権限代行により整備促進を図るよう

■ 災害への事前の備え	
○平時から備・避難所と異なる場所（情報の共有）	多角的な連携 行政機関（国、地方公共団体、消防団等） 施設（自主防災組織、学校、企業、ボランティア等） 住民
○市町村長不在時の責任者の明確化（長官が被災した事例あり）	
○行政の代替機能の確保（行政の休泊、停電等を想定）	
○避難所・備蓄の確保（災害発生時上での対応）	
○臨時的人材育成や防災訓練の実施（防災は「人」）	
○住民等への周知・見守り呼びかけ（行政の対応だけでは限界）	
○避難所等の確保や避難の円滑な実施（避難所が不足する恐れあり）	
○避難所での食料のストック、とるべき避難行動を住民に周知（ハザードマップ等の活用）	
行政機関（国、地方公共団体、消防団等）	
施設（自主防災組織、学校、企業、ボランティア等）	
住民	
■ 災害直前の対応	
○的確な情報収集（衛星をイメージして先導）	多角的な連携 行政機関（国、地方公共団体、消防団等） 施設（自主防災組織、学校、企業、ボランティア等） 住民
○住民との連絡を共有（SNS等を活用し時々刻々の情報を発信）	
○避難所等の確保（避難所を確保し、避難所を確保）	
○避難所等への物資の確保（避難所を確保）	
○避難所での食料の確保（避難所を確保）	
■ 災害発生後の対応	
○自治会、自治会連合会の役割を強化（人命優先）	多角的な連携 行政機関（国、地方公共団体、消防団等） 施設（自主防災組織、学校、企業、ボランティア等） 住民
○避難所等の確保や物資の確保（被災者の生活を支える）	
○住民を活動員として災害対応（応援体制の確保）	
○住民がマスコミへの情報発信（住民に安心感、支障の軽減）	
○ボランティアなどの確保（行政の手が届かない領域の確保）	
○生活再建の促進（災害発生後の生活の再建）	

災害対応の原則
(水害時の市町村の対応マニュアル)



問 災害時の避難所の環境整備を

答 災害時における体制整備を進める



熊谷和弘 議員

問 10月の台風19号による豪雨では、本市においても甚大な被害が発生した。12日の午後から深夜にかけて市内17の避難所に、ピーク時には900

人以上の方が避難した。国内各地で大きな災害が発生している現状において、課題となっていることの一つに災害時の避難所の環境整備が挙げられている。このような中で、災害時に段ボール製の簡易ベッドや間仕切りなどの支援物資を迅速に調達できる協定を段ボールメーカーと結んでいる自治体がある。本市にお

いても民間企業との協定を結ぶなど、災害時の避難所の環境整備に早急にしっかりと取り組むべきと考えるが。
答 二次被害を未然に防止するため、段ボール製簡易ベッドや間仕切りなどは必要性が高いことから、これらの提供を行う企業との協定締結を推進し、災害時における体制整備を進める。
問 協定締結の時期については、いつ頃と考えているのか。

答 これらの段ボール製品を製作している企業の所在地などを検証した上で、できれば本年度中にある程度めどを立てたいと考えている。



問 防災、減災にどう取り組むのか

答 予防保全の取り組みに努める



佐々木幸一 議員

問 大川小津波訴訟の判決が確定し、適切な事前防災体制が求められる。学校の防災計画はどうなっているのか。
答 東日本大震災の教訓を踏まえ指針を策定した。さらに防災主任を配置し、体制強化を図っている。

問 介護保険施設における防災計画は、また地域との連携・協力はどのようなものか。
答 非常災害対策計画を定め、避難訓練、必要な指導、助言を行うとともに連携を図っている。

問 県に要望した長沼川改修、水害予防の支障木伐採はどうなったか。中



河川災害防止の支障木伐採

小河川の対応はどうか。
答 長沼川改修事業は大規模特定河川事業を活用。支障木伐採は迫川など4河川、黄牛川の堆積土砂撤去の予定。中小河川は調査をしていく。
問 災害に強い森林づくりをどう進めるのか。
答 水源涵養、土砂災害防止のための間伐、再造林を進める。また、間伐事業、森林経営管理制度

を活用して取り組む。
問 生態系を基盤としたグリーンインフラの検討、取り組みをする考えは。
答 欧米で始まった取り組みで、有効活用策について調査する。
問 防災計画の見直しと地域別計画の策定を。
答 行政の防災対策に地域主導型の防災計画が連携できるよう勧めたい。



避難所となった市内の公民館

その他の質問
・史跡などを表す標柱の点検整備について

定期議会

特別議会

委員会

一般質問

議会の動き

市民メッセージ

問 迫川に第4の橋梁架設計画は

答 将来を見据えた見直しが必要

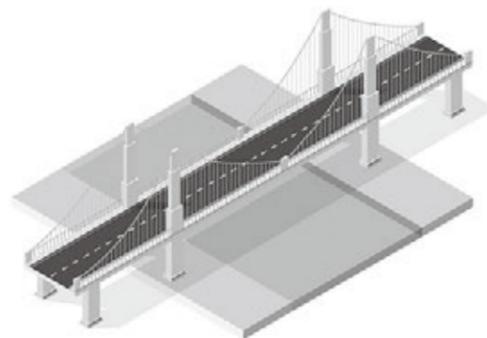


上野 晃 議員

迫川の消防本部付近に橋を架ける計画が、旧迫町から引き継ぐ都市計画に掲載されているようであるが、この計画の実効性は。

昭和57年1月に迫川に橋長約500mの橋梁を架設する計画を策定している。

都市計画決定から37年が経過するが、今後も人口減少が見込まれる中、高速交通網の利用は増加するものの、市内における交通量は減少することから、本路線のように長期間未整備となっている



都市計画道路のあり方については、現状の交通体系を考慮しながら将来を見据えた見直しが必要であると考えている。

高速交通網が整備されることで市内の渋滞が緩和されるといことは、市内から人が遠ざかることになると考える。

市中心部の道路整備をより一層進めることが、登米市に来ていただく一の方策と考えるが。

人を呼ぶということ、いかに魅力のある街づくりをするかにかかっていると考え。どういった街づくりにつながるかということも考えながら、道路整備を進めていきたい。

その他の質問

・自然災害対策について
・長沼フットピア公園周辺の整備方針について



問 教育方針の検証と再構築は

答 点検評価をし令和3年から見直す



田口政信 議員



学力向上に向けた精力的な取り組み



学力向上に向けた精力的な取り組み

教育関係法律や学習指導要領の改訂がされているが教育基本方針の検証と転換の考え方は。

施策の取組みの現状や課題について分析し、外部の事務事業評価などを参考に、令和3年度の次期計画の策定で見直す。

宮城県の実績は全国30位前後であるが本市の順位は。

中学校は、平均より上であり、小学校は平均値である。

学力向上のための具体的な教育手法は。

秋田県能代市と連携し「探求型授業」の手法を取入れ、「主体的・対

話的で深い学びの授業の実現に向け取り組んでいる。

学力調査の結果利用

「児童生徒に確かな学力、生きる力を育むために活用する」観点から各教科の結果を分析する。

改善に向け保護者に協力をいただき生活習慣などの課題を共有し、連携指導できるようにする。

具体的な考え方は、学習の仕方を見直し、新しい目標や計画を立てることや学校毎に課題を整理し授業改善に取組み、保護者と連携し、家庭学習や生活習慣を身につけさせる。

消費税や食料費の高騰、栄養素の補充などがあり、見直しを進める。



問 激減、市の出生数

答 市の基本施策として少子化対策を



沼倉利光 議員

平成28年出生数は510人、29年489人、30年438人と出生数が激減している。新年度に於ける子育て支援施策の次の一手はあるのか

4月からの出生数は10月末現在で258人、前年同期比で24人減っている。令和2年度から6年度までの「第二期子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めている。津山、石越に認定こども園を開園、産後ケア事業で南方子育てサポートセンター内に一時保育事業を実施する予定。

4月からの出生数は10月末現在で258人、前年同期比で24人減っている。令和2年度から6年度までの「第二期子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めている。津山、石越に認定こども園を開園、産後ケア事業で南方子育てサポートセンター内に一時保育事業を実施する予定。

平成26年566人の出生数から4年間で118人減、市の重大な事件と思うが。

人口減少対策は、市施策の基本として進める。

昨年の一時期から市内での出産が出来なくなった。このまちで産む環境づくりについて伺う。

産科医の招致に今後とも努力する。

石巻日赤での出産数が多い。登米診療所に看板を掲げ、日赤との連携の考えはないのか伺う。

産前、産後ケアは保健師、助産師等が実施している。

市は来年度以降、3歳児未満の保育所利用者負担は非課税世帯のみ無料。栗原市は第2子半額、第3子以降は全額が軽減される。同時期に入所した場合は2人目以降無料。この差について感想は。

財政に見合った中で、足元を固め施策を行う。

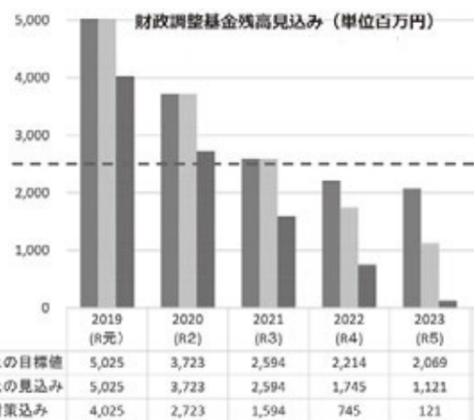


問 財政健全化計画の実効性は

答 しっかりと実行に移せばいい方向に



曾根充敏 議員



財政健全化中期行動計画案が示された。計画の屋台骨は財政調整基金残高25億円の堅持なのか。

財政調整基金は自治体財政の生命線だ。

厳しい財政を言う中で、税収増加など歳入の話がないが。

歳出削減で収支を均衡させることを重視せざるを得ないと思っている。

他会計繰り出しが大きな影響を及ぼしている。病院事業では建設費の償還も出てくるが、計画年次までに処理できるのか。

他会計繰り出しは財政

政支出でも多くを占める。一気に減らす取り組みは難しいと考える。

類似団体の水準を超えているものは廃止を含め見直すとしている。水準を超えているものが本市の魅力ではないのか。

良くて平均の中、どうやって地域の活性化を実現していくのか。

財政再建団体となれば市町村の単独事業は停止する。財政構造を持続

可能なものにした上で独自の事業が打てる。仮に国の基準を超過するようなことになれば我々は一切の選択肢がなくなる。他の自治体より上のも

の少し我慢して頂くかもしれないが、サービスの悪いものは同じレベルに持っていきけるよう精査する。

その他の質問
・高森公園の方向性は



園児198名によるリズムフェスティバル

問 災害対策本部を設置しない理由は

答 非常配備に準じた態勢で対応



岩淵正弘 議員

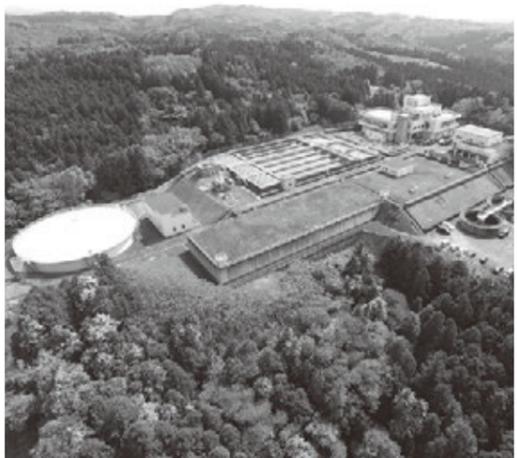
令和元年台風19号の豪雨により、市内各地で甚大な被害が発生した。登米市地域防災計画及び登米市災害対応マニュアルでは、「市内で大規

模な災害が発生し、または発生するおそれがある場合」には、災害対策本部を設置し、被災者の支援や施設・設備等の復旧など、必要な災害応急対策を実施することとしているが、なぜ、今回は災害対策本部を設置しなかったのか。

山町が大きな被害を受けた。その他の地域でも被害が発生していたが、被害拡大のおそれがなく、収束に向かっていた。すでに非常配備に準じた体制をとっている津山町を除き、市内全域に対しての非常配備をする必要性は低く、特別警戒本部での対応が可能と判断したため、災害対策本部の設置には至らなかった。

平成21年の台風18号の際の、災害対応における課題・反省点はどのようだったのか。

ある程度早い時期に災害対策本部を設置すべきとする基準があり、総合的に応急対策が必要と認められる場合には、災害対策本部をつくるべきだった。前回の課題・反省点を活かすことができなかった。



整備が急がれる保呂羽浄水場

問 安全でおいしい水、更なる努力は

答 安全安心の水供給は絶対的な使命



須藤幸喜 議員

本市水道事業の、将来の経営収支の見通しは。

10年間の財政計画においては、料金収入が人口減少等により年1%程度減少し、さらに施設整備や老朽施設の更新に伴う減価償却費の増加で、資金不足が見込まれている。これまでの実績を踏まえ、料金改定の時期を含め、改めて計画の見直しを図る。

同化等が想定されるが、水道事業広域連携検討会での検討状況を見据えながら、事業連携の取組みについて検討して行く。



迫町佐沼大東地区の内水被害 (県合同庁舎裏)

経営基盤強化の一つとして「近隣自治体との事業連携」をどのように考えているか。

近隣自治体との事業連携としては、委託業務の共同化や資材購入の共

「みやぎ型管理運営方式」の先行実施により、「市町村水道の経営基盤強化」が後回しになり、自治体間の広域連携が阻害される心配はないか。

※一般質問の録画配信をQRコードからご覧いただけます

問 ポーランド事前合宿について

答 万全の態勢で臨む



伊藤 栄 議員

6月5日、2020東京五輪に出場する、ポーランドのポルトチームによる事前合宿が決定した。

7か月後、チームの合宿が始まる。市長は事前合宿決定後、「市民一丸となり支援に取組んでいきたい」と話しているが、ハード、ソフト面の支援

体制は。ハード面ではポーランドから輸送されてくるポルト等の輸送手段や、市内ホテルの確保、合宿期間中の移動車両について現在調整中である。

ソフト面では、通訳と総合調整を兼ねるコーディネーター配備等の充実を図る。

また、事前合宿支援実行委員会をはじめ、ポーランドを応援する会との連携を図るとともに1月に本市にオリ・パラ推進室を設置する。

オリンピックの開催機運の醸成を図りながらポーランドチームが、本市での事前合宿を通してメダルを獲得できるよう連携を密にし、「ポルトのまち登米市」として市全体をあげ友好的な交流の創出に努めたい。



問 市立病院をどうするか

答 3病院で地域医療を担う



佐藤恵喜 議員

国は公立病院の再編・統合を求めているが、登米市立病院のあり方は。

市民病院へ一般急性期医療を集約し、米谷病院と豊里病院は回復期と慢性期医療を担う病院として機能分担する。

私は昨年の6月定期議会でも、ベッドを減らさないことを基本とし、3病院で機能分担する方向が大事だと質問した。病院事業管理者も大方それに沿った答弁だった。高齢者が増えるのに、なぜ市民病院のベッドを60床減らすのか。



地域にとって、なくてはならない登米市民病院

※一般質問の録画配信をスマートフォン等から簡単にご覧いただけるよう、QRコードを掲載しました。各議員の一般質問の様子がご覧になれますので、ぜひご利用ください。



歓迎 ポーランドチーム

休床中の南館4階を廃止し透析室にするなどで5病棟体制にし、看護

県は資料だが、高齢者が将来、急性期患者に

入院できないということに起きないのか。

定期議会

特別議会

委員会

一般質問

議会の動き

市民メッセージ

問 災害対策本部を設置しない理由は

答 特別警戒本部での対応可能と判断



日下 俊 議員

戒本部対応が可能と判断した。災害対策本部がすぐ設置できるようマニュアルの見直し検討を予定している。

問 災害対策本部を設置しなかった理由は何か。問題点、課題点はどのようにつまえているか伺う。

答 非常配備に準じた体制の津山町を除き特別警

問 市長は災害時、ポ

ランドに出張中だが現地と連絡は取っていたのか。

答 市長とはメールや電話で報告、指示を得ていた。



問 横山地区においては10年で3回も床上浸水になっているが非常配備に準じた体制とはなにか。

答 横山地区に3名の町域職員を増員し、建設部職員も相当数配備しパトロールなどで対応した。

問 防災無線や緊急告知ラジオは各町で有効活用されたのか伺う。

答 事前の注意喚起などに有効活用されたが、東和においては防災無線が修理中のため、広報車で知らせた。

問 床上浸水の横山地区に対し消防本部ではどのように行動をしたのか。

答 台風が来る前に資機材の準備を指示していた。本部職員を含め警戒配備態勢をとった。南三陸経由の道も検討していた。

問 今回の台風被害に対し市独自の災害補償など検討するべきではないか。

答 国の災害支援はあるが市独自のものは無い。

問 自主防災組織の防災力向上を

答 水防訓練も含め支援・推進していく



工藤 淳子 議員

問 今回の台風19号では、自主防災組織の位置づけが大きくなっていく。地域防災力を高めるための市としての取り組みは。

答 地域防災力の向上のため、県の自主防災組織育成・活性化支援モデル事業を活用し、支援している。ハード面では防災に関する研修会開催に係る費用の補助等を行っている。

問 南方の高石・新高石地区の自主防災組織では防災マップづくりや防災訓練、要援護者支援など先進的に取り組んでいる。市全体がこうした方向でやれるような体制づくりはできないか。

答 地震だけでなく、水防関係の訓練も含めてしっかり支援し、推進していく体制をとっていく。

問 台風の災害復旧について

問 今回は対策本部の設置が必要で、被災者への支援情報は、分野別ではなく、まとめた形で周知ができるだけ早く必要

ではないか。また避難所に毛布、水は用意できないか。
答 対策本部設置は非常配備に準じた体制で対応。支援者への支援情報は、広報と12月号に掲載。避難所については、最低限の備蓄を備えておきたい。
その他の質問
・防災対策について



南沢川越水による津山町久保地区の浸水被害



迫町佐沼中江地区の内水被害

問 台風19号、災害の経験は活かされたか

答 検証を行い今後の対応に活かす



関 孝 議員

問 台風19号は本市に甚大な被害をもたらした。今回の災害対応はこれまでの災害の経験を活かすことができたのか伺う。

答 町域に適した数だけ選定することで、どうし

問 台風19号は本市に甚大な被害をもたらした。今回の災害対応はこれまでの災害の経験を活かすことができたのか伺う。

答 町域に適した数だけ選定することで、どうし



でも使用せざるを得なかった。検証を行っていく。

問 今回の雨量に対して、現計画の河川改修で災害を免れることができないのか疑問である。今回の災害を検証し対策を講じなければ、市民の命を守ることはできないと思うが。

答 これまでどおりの原形復旧では無理と考えており、災害対策としての改良を加えた復旧を強く要望していきたい。

問 他自治体では、民生委員の見守り活動や地域福祉活動をサポートし、民生委員の負担の軽減と新たな担い手の育成を目的に「民生委員協力員制度」を導入し成果を上げている。取り組み考えは。

答 民生委員の方の意見を伺いながら、実施について調査、研究していく。

民生委員協力員制度

問 民生委員協力員制度

問 民生委員協力員制度

問 民生委員協力員制度

問 登米地域の医療体制はどうなるのか

答 現在の取組を着実に推進していく



八木 しみ子 議員

問 先般、厚労省が発表した再編・統合が必要とした公的病院の中に、本市では米谷病院と豊里病院が含まれている。市長は国の機関から示された提言は無視できないとしているがどうなのか。

答 今回の発表は唐突で全国各地の病院がなくならないと混乱を招き、厚労省は全国各地に出向き自治体や医療関係者と意見交換をしている。

問 今回の取組は、各医療機関が担う急性期機能や必要な病床数などの再検証を促すもので、医療機関の統廃合を決めるものではないとしているが、

再編・統合の中にはダウンサイジングや機能分化・連携・集約化・機能転換なども含まれている。

問 地域医療と自治体病院はどうなるのか。市民が安心して暮らせる医療体制の構築について伺う。

答 市病院事業は現在経営改善に向けた取組として、登米市民病院へ一般急性期医療を集約し、米谷病院と豊里病院は回



消えゆく医療機関 (よねやま診療所)

復期と慢性期医療を担う病院として病床機能を担当した医療体制の構築を図ることとしている。

災害に強いまちづくりを

問 市は管理等の総点検

問 市は管理等の総点検

問 市は管理等の総点検

問 市は管理等の総点検

問 市は管理等の総点検

問 市は管理等の総点検

問 空席を活用した市民バス体験試乗



中澤 宏 議員

答 実施に向けた取組を進める

とや、多額の運行費用に
対し運賃収入が低いとい
う課題がある。
そこで、空席を上手に
活用したバスの体験試乗
を行い、より多くの市民
に利便性、満足を実感し
ていただき市民の足とし
ての定着をめざしてほし
い。空席を活用すればゼ
ロ予算で対応可能であ
る。
体験試乗と商店皆様の



空席を活用した無料乗車で、多くの
市民にバスのある暮らしの体験を

ご協力による様々なサー
ビスが一体になれば、地
域経済の活性化も期待さ
れる。増やしたいのはバ
ス利用客であり、市民の
たくさんの笑顔だ。
市長の所見を伺う。

答 運賃収入を運行経費
で除した収支率は約15パ
ーセント。年間33万人に
利用され、特に朝夕通学
される学生に多く利用さ
れている反面、日中の利
用客は伸び悩んでいる。
提案された体験試乗に
ついては、日頃市民バス
を利用しない方に一度乗
車いただき、市民バスを
身近なものとして感じて
いただくための、有効な
取組であると考える。

市民バスの利用拡大に
向け、対象者や試乗券の
配布方法、利用回数や時
期などの自治体等の事
例も参考にしながら、実
施に向けた取組を進めた
い。



問 次年度予算編成どう組立てる



浅田 修 議員

答 組織見直しと健康づくり宣言

問 これまでの実績をど
のように評価し、次年度
の予算編成にどう反映さ
せるのか。

答 人口減少対策では、
子育て世代に重点を置
き、居住・生活環境の整
備に対する支援を行う。
住まいサポート事業では
296人の移住者を創出
している。

医療の充実では市民病
院へ一般急性期医療を集
約し、米谷病院と豊里病
院は回復期と慢性期医療
を担う病院として機能分
担する。教育振興では、
学力向上対策、学校再編
の推進、オリンピック事
前キャンプ支援などを予
算化する。



環境整備を待つ平筒沼

問 平筒沼を北海道富良野のような、花街道構想として整備しては。

答 スペース的に難しい
が公園のイメージアッ
プ、施設周辺の魅力向上
に努めて行く。

問 若者が楽しめるスポ
ーツ施設等の整備を。
答 ニーズを情報収集し

ながら、海洋スポーツの
利用促進を図る。
問 高すぎるYOUYOU
館宿泊料金の見直しを。
答 利用しやすい使用料
に検討する。

その他の質問
・ひょうたん島の整備
・沼のハス除去
・市長の再選について



問 市洪水ハザードマップの活用は



佐藤千賀子 議員

答 自主防災組織等で普及、啓発重要

問 市洪水ハザードマッ
プの活用について台風19
号時、津山町など危険と
思われる地域の市民に対
し説明を行ってきたか。
答 昨年4月に区長を通

じて配布しその後、区長
会等へ参加しハザードマ
ップについて再度説明を
してきた。

自主防災組織、行政区
等に対しては、講習会の
要請に応じ、昨年度は市
内9カ所で説明をしてき
た。

津山町の自主防災組織
等に限定されるとデータ
は無いが、基本的にはホ
ームページを通しての広



問 もくもくランドの復旧への考えは



氏家英人 議員

答 将来を見据えた復旧となるように

問 台風19号により甚大
な被害を受けた「道の駅
津山もくもくランド」は、
隣接する物産館にて仮営
業中だが、本格復旧につ
いては目途が立っていない
。本格復旧への考えは。

答 協同組合もくもくら
ンドや地域の皆様、東北
工業大学などの意見を
聞きながら進めることが
重要。単なる復旧ではな
く、将来を見据えた復旧
となるよう取組む考え
だ。

問 将来を見据えた復旧
とはどういうことか。
答 台風被害はもとより
、三陸道の延伸により
国道45号線の交通量がだ
いぶ落ちてきている。経営的



市民みんなで「もくもくランド」を買い支えよう

に厳しいものがあるが、
土日など沢山の家族連れ
が遊園地機能を利用して
いることを踏まえ考えた
い。

問 市民ができる被災施
設への応援とは、そこへ
行って買い物をする、食
べてくることだと思っ
ては、広報に「もくもく
ランドへ行って買い支え
よう」という市民運動的
な記事を載せては。

答 調整が必要だが載せ

られるように検討する。
問 現在、プラスチック
海洋汚染が世界的な問題
となっている。この機会
に、ぜひ環境に優しい木
製ストローを開発し、も
くもくランドから発信し
てはと思うが。
答 非常に面白いと感じ
たので早速担当を通して
提案させていただきたい。

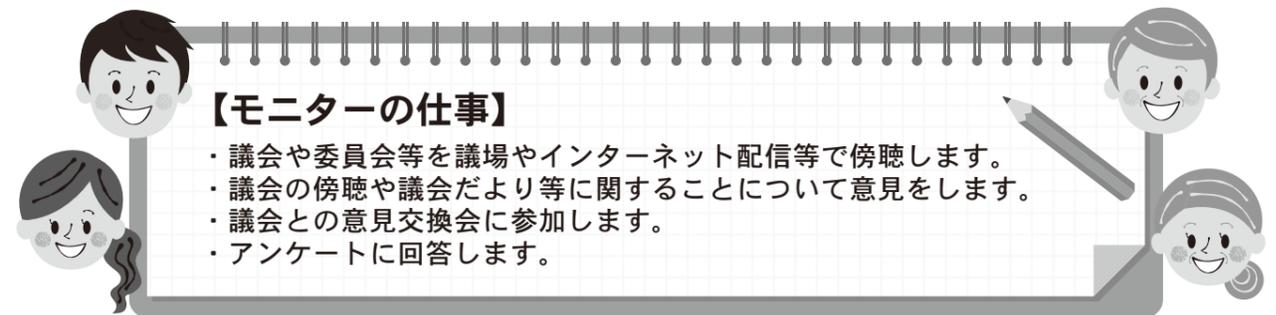
その他の質問
・30歳成人式の実施を



森六荒谷行政区防災マップ

議会モニター募集

登米市議会では、市民とともに開かれた議会づくりを目指しています。市民の皆さんから議会に関して意見を寄せていただくため「登米市議会モニター」を募集します。



【モニターの仕事】

- ・議会や委員会等を議場やインターネット配信等で傍聴します。
- ・議会の傍聴や議会だより等に関することについて意見をします。
- ・議会との意見交換会に参加します。
- ・アンケートに回答します。

【応募資格】
 ▼満18歳以上
 ▼議会運営に深い関心を持つ人
 ▼地方公共団体の議員でない人
 ▼常勤の公務員でない人

【任期】
 委嘱された日と令和2年度末

【募集人員】20人以内

【応募方法】①住所②氏名(ふりがな)③生年月日(年齢)④電話番号⑤職業を指定の様式に記入し、市役所迫庁舎(3階)の議会事務局まで持参するか、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかでお申し込みください。

※指定の様式は議会ホームページまたは事務局に準備しております。

【募集期限】2月28日(金)まで
(当日消印有効)

【申し込み問い合わせ】
 議会事務局
 〒987-10595 登米市迫町
 佐沼字中江二丁目6番地1
 TEL 0220(22)1913
 FAX 0220(22)9225
 gikaiju@tome.miyagi.jp

11月10日	公共施設のあり方調査特別委員会	12月2日	宮城県市議会議長会臨時協議会
11月3日	広報広聴委員会	12月3日	教育民生常任委員会
11月4日	愛知県安城市議会	12月6日	12月定期議会(19日)
11月8日	議会改革推進会議	12月10日	教育民生常任委員会
11月9日	総務企画常任委員会	12月11日	産業建設常任委員会
11月10日	意見交換会(迫、東和、米山、石越、津山)	12月11日	総務企画常任委員会
11月11日	意見交換会(登米、中田、豊里、南方)	12月11日	教育民生常任委員会
11月12日	第1回災害対策連絡会議	12月11日	産業建設常任委員会
11月15日	第2回災害対策連絡会議	12月11日	総務企画常任委員会
11月18日	全員協議会	12月11日	教育民生常任委員会
11月21日	総務企画常任委員会	12月11日	産業建設常任委員会
11月22日	教育民生常任委員会	12月11日	総務企画常任委員会
11月23日	産業建設常任委員会	12月11日	教育民生常任委員会
11月24日	登米市子供議会2019	12月11日	産業建設常任委員会
11月24日	登米市子供議会2019	12月11日	総務企画常任委員会
11月25日	岩手県紫波町議会 政務調査会	12月11日	教育民生常任委員会
11月25日	いさぎ町づくり部会行政視察	12月11日	産業建設常任委員会
11月28日	第3回災害対策連絡会議	12月11日	総務企画常任委員会
11月28日	第10回一関市議会・登米市議会・栗原市議会議員交流会	12月11日	教育民生常任委員会
11月29日	宮城県市議会議長会秋季定期総会	12月11日	産業建設常任委員会
11月30日	教育民生常任委員会	12月11日	総務企画常任委員会
11月30日	大阪府守口市議会	12月11日	教育民生常任委員会
11月30日	会派「改革クラブ」行政視察	12月11日	産業建設常任委員会
11月30日	広報広聴委員会	12月11日	総務企画常任委員会
11月1日	鹿児島県薩摩川内市議会	12月11日	教育民生常任委員会
11月1日	産業建設委員会行政視察	12月11日	産業建設常任委員会
11月6日	全国市議会議長会第107回評議員会	12月11日	総務企画常任委員会
11月6日	広報広聴委員会	12月11日	教育民生常任委員会
11月7日	沖縄県八重瀬町議会 経済産業文教常任委員会行政視察	12月11日	産業建設常任委員会
11月7日	富山県入善町議会	12月11日	総務企画常任委員会

議会の動き

市民メッセージ

あなたの声

わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

人と人とを繋ぐチーム力



あやさん 山崎 (東和)

専らスポーツ好きの私の今一番の楽しみは、子供達のバレーボールと野球の追っかけです。時に熱くなりすぎて大声援(時々野次)を飛ばしまくりに、子供から鋭い眼差しを向けられる事もあります。全力で一球を繋ぐ姿には感動を貰います。自分の役割を担い、弱さは互いに補い合い、同じ思いや目標を持った仲間がいてこそチームの力は発揮できます。

本市でも少子化や医療過疎など様々な問題が生じていますが、乗越えるチーム力が必要だと感じます。本市には登米師(登米無双より)というプレーヤーがたくさんいます。それぞれの持ち味や強みを活かし一人一人がチーム登米市の一員として同じ想いを持ち、補い、人と人とを繋げていく。そんな魅力ある登米師がたくさんいる、熱い登米市を子供達に残してあげたいと感じています。

これからの人達に



ひろきさん 菅原 (石越)

登米市に生まれ、この地から離れることなく過してきました。二十代の頃は地元の方々と青年会を通じ、色々な方々と交流したり、文化祭や体育大会などを開催・運営したり、また自ら人形劇に参加し東京で行われる全国大会へ出場したりと様々な経験をすることができました。

青年から中年となり、当時の仲間達と会う機会も少なくなりましたが、会えば昔の話や、近況の事など話題については事欠かない関係を持っていることが、思えば大きな財産を得ていたと感じるようになりました。

若い世代が減ってきている今、同年代の人達が交流できる機会は貴重です。人が集まり、一緒に何かを経験する場をこれからの方達に多く与えて欲しいと思います。

年金プラスアルファ



たかしさん 高橋 (南方)

私は南方町に住んでいる64歳です。現在、年金生活を送っています。が夫婦の年金だけでは生活ができません。

私は近くの農地を借りてネギを作っています。農家をやってみて感じた事は、助成金等は大規模農家にはばかり集中しており、小規模農家に対しては補助が薄いと感じています。

市政に期待したい事は、小規模農家でも生計を立てて行けるような政策を期待しています。時代の流れに逆行しているかもしれないですが、強い者ばかりが生き延びる登米市ではなく、私のような弱い者でも幸せに生活できる登米市であってほしいです。

例えば秋田県能代市にはネギ課という部署があり、年間数億円の売り上げを上げています。私は80歳まで月額5万円から10万円の収入が得られるようになればいいと思います。最後に、難しい質問には解説をお願いします。



ポーランド日本語学校の生徒が 議場を見学しました



12月17日にホストタウン事業として、ポーランドのクラクフサンスター日本語学校と仙台白百合学園中学・高等学校の生徒が表敬訪問に来庁しました。

令和2年登米市議会定例会が開会



1月15日、議会開会に先立ち、佐沼小学校合唱隊による市民歌の斉唱を行いました。

あとがき

新年あけましておめでとうございます。

さて、早いもので、元号が平成から令和へと変わってから、一年が経とうとしています。本年は、市内にある長沼ボート場にポーランドが事前合宿にお越しただく予定になっているなど、活気ある年になることが期待されます。

「とめ市議会だより」も、より読みやすいも

のを目指して今年もお届けしていきますので、本年もよろしくお願いたします。

(上野 晃)

広報広聴委員会

委員長 熊谷 和弘
副委員長 佐々木好博
委員 上野 晃
曾根 充敏
須藤 幸喜
岩淵 正弘
佐藤千賀子

議長 及川 昌憲
岩淵 正宏
関 孝

議会からのお知らせ

2月定期議会

2月3日(月) 開会予定

傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続きで、個人でも団体でもお気軽に傍聴することができます。

議会中継がスマホで見れます。

登米市議会のインターネット中継がスマートフォンから見られるようになりました。



※スマートフォンでの視聴はパケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信料が高額になる場合がありますので注意してください。

議会のホームページを 開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<https://www.city.tome.miyagi.jp/gikaijimu/shisejoho/gyose/shigikai/index.html>

議会のfacebookも開設しています。

登米市議会



いいね!をお願いします

